

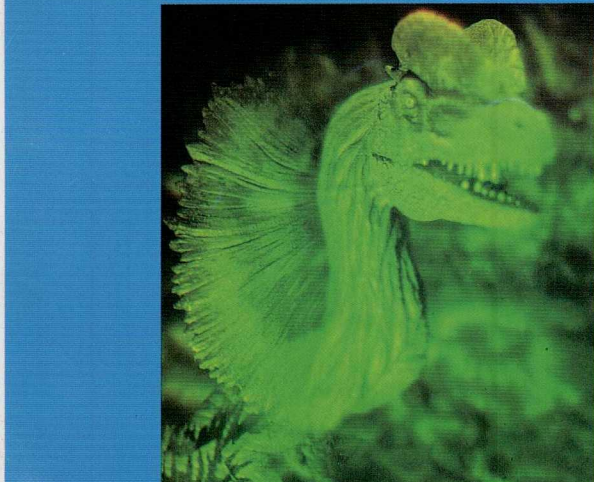
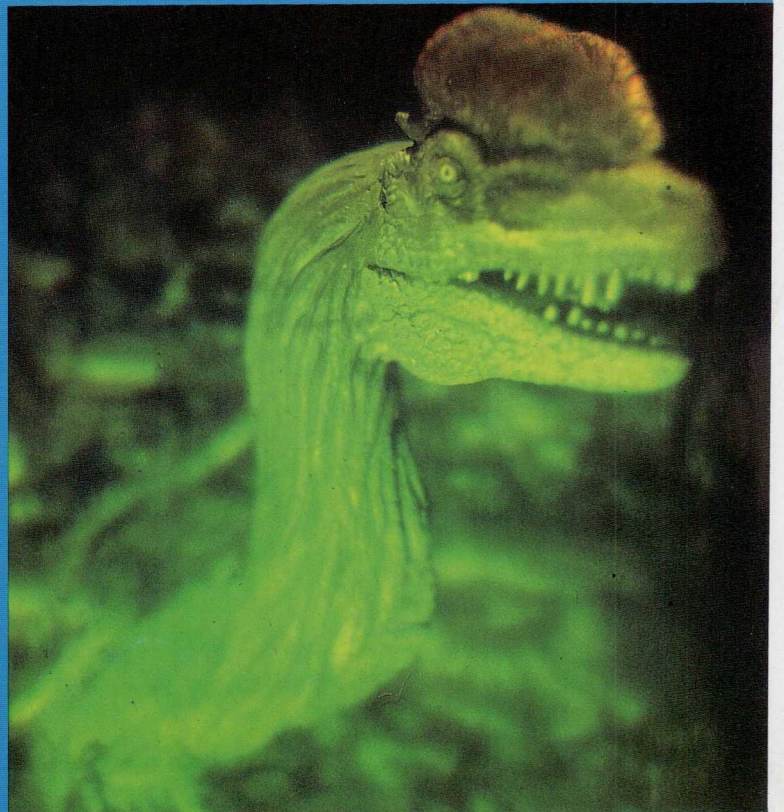
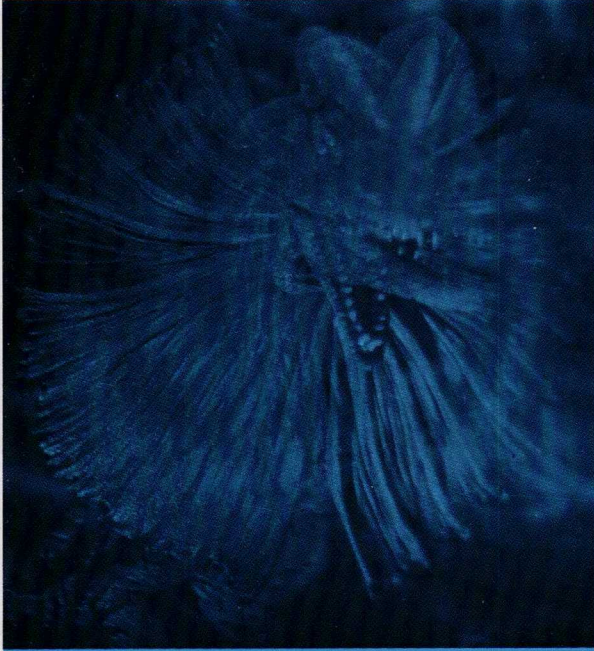
こうしょう

自動車技術会関東支部報
〈高翔〉

No. **21** 1994
APRIL

- 記録を支える材料技術
- 自動車と新しいホログラフィ技術
- プガッティのクラブツマンシップ
- 文化財の保存・修復
- 機械式腕時計への回生
- 眼内レンズ

たくみ — 巧・工・匠 —





自動車産業への期待

●丸茂長幸

くるま クラシック 詩歌

●増田 忠

たくみ 巧・工・匠

① 記録を支える材料技術 ●福岡正信

② 自動車と新しいホログラフイ技術 ●岡林 繁

③ フガツイのクラフツマンシップ ●小林彰太郎

④ 文化財の保存・修復における合成樹脂の使用 ●樋口清治

⑤ 機械式腕時計への回生 ●田中 淳

⑥ 眼内レンズ ●山内愛造

世界の技術博物館めぐり

●樋口健治

—FF車のルーツを訪ねて—

読者から・関東支部事務局より

あとがき

〈表紙〉

一枚のホログラムに光をあて、少しずつ角度を変えて行くと、鮮明で色あざやかな立体像が浮かんでくる。恐竜達が姿を表わすと、手でつかみたくなるほどの臨場感がある。最近のホログラフイ技術の進展は工業的な応用の可能性を広げるほど、巧みになって来たようだ。表紙は米国ホロロイド社が作製したホログラムから見えて来る像である。

(ホログラムは日産自動車 岡林 繁氏提供)